

調達情報の確認・入札等を、 インターネットを利用して行うことが できます。

 **操作マニュアル** > | ? FAQ・お問い合わせ >

MENU トップ > 調達ポータル

## パソコンをセットアップする

このページには以下の内容が含まれます。

推奨環境を確認する | 使用する機能とログイン方法を確認する | ICカードとICカードリーダーライターを準備する 調達ポータルと電子調達システムを使用できるようにする | 電子調達システム用プログラムの設定をする | ブラウザーの設定を する

セットアップが正常に完了したことを確認する | Javaスクリプトの設定をする

電子証明書またはマイナンバーカードを使用して調達ポータルにログインすると、調達ポータルから政府電子調達システム(GEPS)を 利用して電子入札や契約の操作ができます。調達ポータルと政府電子調達システム(GEPS)について詳しくは、操作マニュアルの調達 ポータルについてを参照してください。

1台のパソコンを複数人で使用している場合、セットアップはユーザーごとに実施してください。

電子入札や契約をするためには、以下の準備が必要です。



このページではパソコンのセットアップについて説明しています。その他の準備については以下を参照してください。

・入札参加資格の取得

統一資格審査申請・調達情報検索サイトロ

入札参加資格には工事や測量・建設コンサルタントの資格もあります。詳しくは、各府省の窓口に問い合わせてください。 ・電子証明書の取得

操作マニュアルの初めてご利用になる方へ>

・利用者登録

操作マニュアルの利用者を登録する >

このページでは、これ以降「政府電子調達システム(GEPS)」を「電子調達システム」と表記します。

#### \rm \rm 重要

● 利用者登録が完了するまで電子入札や契約はできません。期間に余裕をもって利用者登録をしてください。

- セットアップでこまったときには、調達ポータルのFAQ(よくあるご質問) > を参照してください。
- このページではWindows 10での操作を説明しています。使用しているパソコンによっては操作が異なることがあります。

#### 推奨環境を確認する

使用しているパソコンやネットワークが推奨環境の要件を満たしているか確認してください。

推奨環境については、操作マニュアルの初めてご利用になる方へ > 、電子調達システムの電子調達システムの利用開始方法 図を参照して ください。

#### 使用する機能とログイン方法を確認する

調達ポータルと電子調達システムは、ログインして使用するかどうかやログイン方法によって使用できる機能が異なります。

	ログインしないで利用	IDとパスワードでログイン	電子証明書またはマイナンバー カードでログイン
調達情報を検索する	0	0	0
希望する条件に合う調達案 件の通知を受け取る	×	0	0
電子入札と契約をする	×	×	0
統一参加資格の申請をする	0	0	0

ログインしないで利用する場合

調達ポータルで調達情報を検索できます。

Javaスクリプトの設定をする > を参照してあらかじめJavaスクリプトの設定をしてください。利用者登録は不要です。

#### IDとパスワードでログインして利用する場合

調達ポータルで調達情報を検索したり調達案件の通知を受け取ったりできます。 Javaスクリプトの設定をする > を参照してあらかじめJavaスクリプトの設定をしてください。Javaスクリプトの設定が完了したら、利用者を登録する に進んでください。

電子証明書またはマイナンバーカードでログインして利用する場合

調達情報の検索、電子入札や契約など、調達ポータルと電子調達システムのすべての機能を利用できます。 電子証明書またはマイナンバーカードでログインできるようにするには、あらかじめ認証局から電子証明書を購入するか、電子証明書が 記録されたマイナンバーカードの取得を市区町村役場で申請してください。 電子証明書には以下の2種類があります。

・ICカード形式

ICカードリーダーライターでICカードを読み取って使用します。

・ファイルタイプ

パソコンに保存した証明書のファイルを指定して使用します。

マイナンバーカードはICカード形式の証明書と同じようにICカードリーダーライターで読み取って使用します。

ICカード形式の証明書またはマイナンバーカードを使用するには、認証局が提供しているクライアントソフトの設定も必要 詳細は 各認証局に確認してください。認証局について詳しくは、操作マニュアルの初めてご利用になる方へ >を参照してくださ 電子証明書とマイナンバーカードのどちらを使用できるかは利用者の種類によって異なります。

	代表者          代理人		里人	
	個人事業主	個人事業主以外		
ICカード形式の電子証明書	0	0	0	0
ファイルタイプの電子証明書	0	0	0	0
マイナンバーカード	○※1	×	<b>○※2</b>	<b>○※2</b>

※1 物品・役務、または簡易な公共工事資格を保有する個人事業主のみ

※2 代表者の利用者登録が完了していて、代理人の電子委任状を取得済みの場合のみ

会社の代表者名義の電子証明書を使用する利用者のことを"代表者"、代表者以外の名義の電子証明書を使用する利用者のことを"代理 人"と呼びます。

代表者と代理人について詳しくは、操作マニュアルの利用者を登録する〉を参照してください。

電子証明書またはマイナンバーカードでログインするために必要なセットアップの内容は以下のとおりです。



電子調達システム用プラグラムの設定は、電子入札をする場合だけ実施します。

電子調達システムを利用しないで調達ポータルから事業者プロフィールを登録するだけでも、電子証明書またはマイナンバーカードが必要です。事業者プロフィールを登録するだけの場合は、調達ポータルのインストーラー(zip形式:1.3MB) >をダウンロードしてプラ グインをインストールしてから、ブラウザーの設定をしてください。インストール方法についてはICカードを利用する場合 >、ブラウザ ーの設定についてはブラウザーの設定をする >を参照してください。

## ICカードとICカードリーダーライターを準備する



ICカード形式の証明書またはマイナンバーカードで調達ポータルにログインする場合は、使用するカードとICカードリーダーライターを 準備してください。ICカードリーダーライターは、製品に付属のマニュアルを参照してドライバーのインストールとパソコンへの接続を 完了してください。

先頭/

証明書の発行元である認証局によって使用できるICカードリーダーライターは異なります。詳細は各認証局に確認してください。 使用するカードとICカードリーダーライターの準備ができたら、調達ポータルと電子調達システムを使用できるようにすます。

ファイルタイプの電子証明書を使用する場合、ICカードとICカードリーダーライターは不要です。

### 調達ボータルと電子調達システムを使用できるようにする



調達ポータルと電子調達システムで電子証明書またはマイナンバーカードでのログインが必要となる機能を使用するには、ブラウザーの 機能を拡張するためのプラグインや、入札業務で使用するプログラムをインストールします。

電子入札または契約するユーザーごとにインストールの操作が必要です。あらかじめ、各ユーザーにAdministrators(システム管理者権限)グループの権限が付与されていることを確認してください。権限がない場合は、一時的に権限を付与してください。 ログイン方法を以下のいずれかから選択し、プラグインのインストールなどを進めます。

- ・ICカードを利用する場合>
- ・ファイルタイプの証明書を利用する場合 >
- ・マイナンバーカードを利用する場合 >

#### דע 📮

パソコンに.NET Framework 4.6.1以上がインストールされていないと、インストーラーが起動せずエラーになることがあります。エラーになった場合はMicrosoft社のサイトから.NET Framework 4.6.1以上をダウンロードしてください。

ICカードを利用する場合

ICカードを使用して電子調達ポータルと電子調達システムにログインする場合は、以下の手順でプラグインをインストールします。

1. パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了します。

2. インストーラーをダウンロードします。

以下のリンクをクリックしてパソコンに圧縮ファイルを保存してください。 ICカードを利用する場合のインストーラー(zip形式:1.3MB) >

3. ダウンロードした圧縮ファイルを右クリックして、 [すべて展開] をクリックします。



「展開先の選択とファイルの展開」画面が表示されます。

### 4. [展開] をクリックします。

[参照]をクリックすると、別のフォルダーを展開先として指定できます。



インストーラーが起動し、「調達ポータル・電子調達システムプラグイン セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

6. [次へ] をクリックします。



- 7. 使用許諾契約書の内容を確認してから「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ、 [次へ] をクリックします。
- 8. [インストール] をクリックします。

プラグインのインストールが始まります。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

9. 「調達ポータル・電子調達システムプラグイン セットアップウィザードが完了しました」と表示された ら[完了]をクリックします。





# 10. パソコンのタスクバーにある検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、エンターキーを押します。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

11. [プログラム] をクリックします。

12. [プログラムと機能] をクリックします。

13. プログラムの一覧に"調達ポータル・電子調達システムプラグイン"があることを確認します。

プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラ	ムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復	] をクリックします。			
整理 ▼					 ?
名前	発行元	インストール日	サイズ	パージョン	^
■ 調達ポータル・電子調達システムプラグイン	Digital Agency, Government of Japan	2022/02/17	2.49 MB	1.1.0.0	
現在インストールされているブログラム 117個のブログラムがインストールされています	合計サイズ: 13.9 GB す				~

### 14. パソコンを再起動します。

ICカードで利用できるようにするためのプラグインのインストールは以上で完了です。 続けてブラウザーの設定をします。設定のしかたについては、ブラウザーの設定をする > を参照してください。

דע 📮

- ダウンロードした圧縮ファイルの解凍方法は、パソコンにインストールされている解凍ソフトによって異なります。
- コントロールパネルの表示方法によっては手順11の [プログラム] は表示されません。この場合は [プログラムと機能] をクリックしてください。

ファイルタイプの証明書を利用する場合

ファイルタイプの証明書を使用して電子調達ポータルと電子調達システムにログインする場合は、以下の手順でプラグインとプログラム をインストールします。

1.パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了します。



### 2. インストーラーをダウンロードします。

以下のリンクをクリックしてパソコンに圧縮ファイルを保存してください。 ファイルタイプの証明書を利用する場合のインストーラー(zip形式: 6.6MB) >

3. ダウンロードした圧縮ファイルを右クリックして、 [すべて展開] をクリックします。



「展開先の選択とファイルの展開」画面が表示されます。

4. [展開] をクリックします。

[参照]をクリックすると、別のフォルダーを展開先として指定できます。

5. 「pps-geps-app-filetype」フォルダーにある"Setup-Filetype.exe"をダブルクリックします。

インストーラーが起動し、「調達ポータル・電子調達システムプラグイン セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

#### 6. [次へ] をクリックします。



7. 使用許諾契約書の内容を確認してから「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ、 [次へ] をクリックします。



プラグインのインストールが始まります。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

9. 「調達ポータル・電子調達システムプラグイン セットアップウィザードが完了しました」と表示された ら[完了]をクリックします。



「電子調達システム用プログラムのInstallShield Wizardへようこそ」画面が表示されます。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

### 10. [次へ] をクリックします。



11. [参照] をクリックします。

12. 民間認証局から購入した証明書があるフォルダーを選択し、 [OK] をクリックします。



フォルダの選択	×
フォルダを選択してください。	
ν' λ( <u>P</u> ):	
C¥	
$7\pi\mu\hat{y}$ –(D):	
✓ L ローカル ディスク (C:)	^
cert	
in the second second second	
- Constant	
	~
OK キャンセル	,

13. 表示された証明書の一覧から使用する証明書を選択し、 [次へ] をクリックします。

14. 画面に表示された内容を確認し、 [次へ] をクリックします。

プログラムのインストールが始まります。

15. 「InstallShield Wizardの完了」と表示されたら [完了] をクリックします。



画面が閉じます。

16. パソコンのタスクバーにある検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、エンターキーを押します。





「コントロールパネル」画面が表示されます。

- 17. [プログラム] をクリックします。
- 18. [プログラムと機能] をクリックします。
- 19. プログラムの一覧に"調達ポータル・電子調達システムプラグイン"と"電子調達システム用プログラム"があることを確認します。

プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選	沢して [アンインストール]、[変更]、または [修復	]をクリックします。				
整理 ▼					•	?
名前	発行元	インストール日	サイズ	バージョン		^
<ul> <li>         ・調達ボータル・電子調達システムブラグイン         ・電 電子調達システム用ブログラム     </li> </ul>	Digital Agency, Government of Japan Digital Agency, Government of Japan	2022/03/16 2022/03/16	2.49 MB	1.1.0.0 2.1.0000		~
現在イソストールされているプログラム 合言 117 個のプログラムがインストールされています	+サイズ: 13.9 GB					

### 20. パソコンを再起動します。

ファイルタイプの証明書で利用できるようにするためのプラグインとプログラムのインストールは以上で完了です。 続けて電子調達システム用プログラムの設定をします。設定のしかたについては、電子調達システム用プログラムの設定をする > を参照 してください。

#### 루 メモ

- ダウンロードした圧縮ファイルの解凍方法は、パソコンにインストールされている解凍ソフトによって異なります。
- コントロールパネルの表示方法によっては手順17の [プログラム] は表示されません。この場合は [プログラムと機能] をクリックしてください。

マイナンバーカードを利用する場合

マイナンバーカードを使用して電子調達ポータルと電子調達システムにログインする場合は、以下の手順でプラグインとプログラムをインストールします。

1. パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了します。

### 2. インストーラーをダウンロードします。

以下のリンクをクリックしてパソコンに圧縮ファイルを保存してください。 マイナンバーカードを利用する場合のインストーラー(zip形式:3.3MB) >



3. ダウンロードした圧縮ファイルを右クリックして、 [すべて展開] をクリックします。



「展開先の選択とファイルの展開」画面が表示されます。

### 4. [展開] をクリックします。

[参照]をクリックすると、別のフォルダーを展開先として指定できます。

5. 「pps-geps-app-jpki」フォルダーにある"Setup-JPKI.exe"をダブルクリックします。

インストーラーが起動し、「調達ポータル・電子調達システムプラグイン セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

### 6. [次へ] をクリックします。



7. 使用許諾契約書の内容を確認してから「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ、 [次へ] をクリックします。

#### 8. [インストール] をクリックします。

プラグインのインストールが始まります。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。



9. 「調達ポータル・電子調達システムプラグイン セットアップウィザードが完了しました」と表示された ら[完了]をクリックします。



「電子調達システム用プログラム セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

### 10. [次へ] をクリックします。



「インストールフォルダーの選択」画面が表示されます。



1月 電子調達システム用プログラム	-		×
インストール フォルダーの選択			
インストーラー お次のフォルダーへ 電子調達システム用プログラム をイ	シスト	ールしま	す。
このフォルターにコンストールするにはしばく」をクリックしてください。 トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	りフォノ	12 -12	122
フォルダー(E):		参照( <u>R</u> )	
	ディ	スク領域	ŧ( <u>D</u> )
キャンセル < 戻る(B)		次へ()	<u>N) &gt;  </u>

- 11. [次へ] をクリックします。
- 12. 「電子調達システム用プログラムをインストールする準備ができました。」と表示されたら [次へ] を クリックします。



インストールが始まります。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」にDigital Agencyと表示されていることを確認して[はい]をクリックします。

13. 「電子調達システム用プログラムは正しくインストールされました。」と表示されたら [閉じる] をクリックします。





画面が閉じます。

14. パソコンのタスクバーにある検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、エンターキーを押します。

	▶ ここに入力して検索	
--	-------------	--

- 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 15. [プログラム] をクリックします。
- 16. [プログラムと機能] をクリックします。
- 17. プログラムの一覧に"調達ポータル・電子調達システムプラグイン"と"電子調達システム用プログラム"があることを確認します。

プログ プログラル	ラムのアンインストールまたは変更 ムをアンインストールするには、一覧からプログラムを注	<b>営択して [アンインスト−ル]、[変更]、または [修復</b>	]をクリックします。				
整理 ▼						•	?
名前	^	発行元	インストール日	サイズ	バージョン		^
■ 調達ボー: 1120 電子調達	タル・電子調達システムプラグイン きシステム用プログラム	Digital Agency, Government of Japan 電子調達システム	2022/03/16 2022/03/16	2.55 MB 6.01 MB	1.1.0.0 1.1.0		~
õ	現在インストールされているプログラム 含 117 個のプログラムがインストールされています	'計サイズ: 13.9 GB					





マイナンバーカードで利用できるようにするためのプラグインとプログラムのインストールは以上で完了です。

続けて電子調達システム用プログラムの設定をします。設定のしかたについては、電子調達システム用プログラムの設定をする > を参照 してください。

#### דע 📮

- ダウンロードした圧縮ファイルの解凍方法は、パソコンにインストールされている解凍ソフトによって異なります。
- コントロールパネルの表示方法によっては手順15の [プログラム] は表示されません。この場合は [プログラムと機能] をクリックしてください。

### 電子調達システム用プログラムの設定をする



電子入札をする場合は、パソコンにインストールした電子調達システム用プログラムの設定をします。 ICカード形式の電子証明書を使用する場合、電子調達システム用プログラムの設定は不要です。

1. パソコンのタスクバーにある検索ボックスに「電子調達システム用プログラム」と入力し、エンターキー を押します。



電子調達システム用プログラムが起動し、パソコンのタスクバーに電子調達システム用プログラムのアイコンが表示されます。



「セキュリティ警告」画面が表示された場合は[はい]をクリックします。

セキュリティ	(警告	×
<u> </u>	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしよ うとしています:	
	localhost	
	証明書が実際に "localhost" からのものであるかどうかを検証できません。 "localhost" に連絡して発行者を確認する必要があります。次の番号はこの 過程で役立ちます:	
	拇印 (sha1):	
	答告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は 自動的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストール することは、セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックすると、この危険を認 識したことになります。	
	この証明書をインストールしますか?	
	the second second	

「Windowsセキュリティの重要な警告」が表示された場合は [アクセスを許可する] をクリックします。



Windows セキュリティの重要な警告     Windows セキュリティの重要な警告	×
このアプリの機能のいくつかが Windows Defender ファイアウォールでブロックされ ています	
すべてのパブリック ネットワークとプライベート ネットワークで、Windows Defender ファイアウォールにより 電子調達シス テム用プログラム の機能のいくつかがブロックされています。 名前( <u>N</u> ): <u>電子調達システム用プログラム</u> 発行元( <u>P</u> ): 電子調達システム パス( <u>H</u> ): C:¥program files¥ebid¥corerelay¥bin¥corerelay.exe	
電子調達システム用プログラムにこれらのネットワーク上での通信を許可する: ☑ プライベート ネットワーク (ホーム ネットワークや社内ネットワークなど)(R) □ パブリック ネットワーク (空港、喫茶店など) (非推奨)(U) (このようなネットワークは多くの場合、セキュリティが低いかセキュリティが設定されていません)	
<u>アプリにファイアウォールの経由を許可することの危険性の詳細</u>	

**2.** パソコンのタスクバーにある電子調達システム用プログラムのアイコンを右クリックし、[許可URLリスト登録]をクリックします。

	_
許可URLリスト登録	
バージョン情報表示	
キャッシュ削除	T-mail
ログ参照	1.000
終了	۷
^	₽ ₽

3. 入力欄に「https://www.nyusatsu.geps.go.jp」と入力し、 [追加] をクリックします。

URLの最後には"/"(スラッシュ)を付けないでください。



<sup>「</sup>許可URLリスト登録」画面が表示されます。

許可URLリスト登録	×
 許可されたサイトのURL	
https://www.nyusatsu.geps.go.jp	
追加	
<u>肖</u> 川 路余	

「許可されたサイトのURL」に入力したURLが表示されます。

4. 「許可URLリスト登録」画面の [×] をクリックします。

5. 確認画面で [はい] をクリックします。

許可URLリスト登	録	×
変更した情報の保存を	行いますか?	
[ III M	いいえ( <u>N</u> )	

6. 「保存しました。」と表示されたら [OK] をクリックします。

画面が閉じます。

以上で設定は完了です。 続けてブラウザーの設定をします。設定方法については、ブラウザーの設定をする >を参照してください。

#### 루 メモ

- 手順1の「セキュリティ警告」画面で [いいえ] をクリックした場合は、表示されたエラー画面の [OK] をクリックしてから電 子調達システム用プログラムを起動し直してください。
- 「セキュリティ警告」画面の「拇印(sha1):」には、インストールのたびに異なるランダムな値が表示されます。



ブラウザーの設定をする



調達ポータルと電子調達システムを使用するにはブラウザーの設定をします。 使用できるブラウザーはInternet Explorer 11、Microsoft Edge、Google Chromeです。 電子入札や契約の操作をするときに使用するブラウザーを以下のいずれかから選択し、ブラウザーの設定をします。

- ・Internet Explorer 11を使用する場合 >
- Google Chromeを使用する場合 >
- ・Microsoft Edgeを使用する場合 >

Internet Explorer 11を使用する場合

電子入札や契約の操作をするときにInternet Explorer 11を使用する場合は、以下の手順で設定します。

- 1. Internet Explorerを起動します。
- 2. 画面の下部に「"Digital Agency"の"EpsMainCtrl"アドオンが使えるようになりました。」と表示されたら、 [有効にする] をクリックします。

3. [1] (ツールボタン)をクリックして、 [インターネットオプション] をクリックします。



「インターネットオプション」画面が表示されます。

### 4. [プログラム] タブをクリックします。





5. [アドオンの管理] をクリックします。

「アドオンの管理」画面が表示されます。

追加のツール パーと拡張機能を検索(<u>F</u>)... ツール パーと拡張機能の詳細(<u>N</u>)

- アドオンの管理 Internet Explorer アドオンの表示と管理 アドオンの種類 名前 発行元 状態 アーキテクチャ 読み込み時… ナビゲーショ… 32 ビットと 6... 無効 *▶* 検索プロバイダー(<u>S</u>) 無効 32 ビットと 6... 🔽 アクセラレータ(<u>A</u>) 無効 32 ビットと 6... ◎追跡防止(K) 有効 32 ビットと 6... 0.06 秒 0.05 秒 有効 32 ビット 0.02 秒 0.00 秒 新規 64 ピット 新規 64 Ľット 表示: 現在読み込まれているアドオン -32 ビットと 6... 有効 すべてのアドオン 許可なしに実行 ダウンロード済みコントロール
- 6. 「表示」で [すべてのアドオン] を選択します。

## 7. アドオンの一覧で [EpsMainCtrl] が有効になっていることを確認します。

無効になっている場合は [EpsMainCtrl] をクリックして画面右下の [有効にする] をクリックします。

アドオンの管理							×
Internet Explorer アドオンの表示と管理							
		A					
アドオンの種類	名前	発行元	状態	アーキテクチャ	読み込み時…	ナビゲーショ	Â
<ul> <li></li></ul>			有効	32 ビットと 6			
アクセラレータ( <u>A</u> )			無効	32 ビットと 6			
S 追跡防止(K)			無効	32 ビットと 6			
			無効	32 ピットと 6			
			有効	32 ビットと 6	0.06 秒	0.05 秒	
			有効	32 ピットと 6			
	EpsMainCtrl		無効	32 ピット	(0.02 秒)	(0.00 秒)	
表示: すべてのアドオン 〜			新規	64 ピット			
EpsMainCtrl							
パージョン: 1.1.0.0 ファイル日付: 2020年10月27日、 詳細情報(氏)	14:58	種類: 既定の検索プロバイダ	ブラウザー ヘルバ ーでこのアドオンを	ー オブジェクト 検索( <u>C</u> )			
							有効にする( <u>E</u> )
追加のツール バーと拡張機能を検索(E) ツール バーと拡張機能の詳細( <u>N</u> )							閉じる( <u>L</u> )



 $\times$ 

閉じる(<u>L</u>)

8. 画面右下の [閉じる] をクリックします。

「アドオンの管理」画面が閉じます。

9. [詳細設定] タブをクリックします。



10.「拡張保護モードで64ビットプロセッサを有効にする」と「拡張保護モードを有効にする」のチェックを外します。



使用しているパソコンのOSが32bit版の場合、この項目は表示されません。

11. 「サードパーティ製のブラウザー拡張を有効にする」にチェックを入れます。





使用しているパソコンによっては「Enable third-party browser extensions」と表示されることがあります。

12. [セキュリティ] タブをクリックします。

13. [信頼済みサイト] をクリックします。



14. 「このゾーンのセキュリティのレベル」を中にして、 [保護モードを有効にする] にチェックが入って いないことを確認します。





15. [適用] をクリックします。

16. [サイト] をクリックします。



「信頼済みサイト」画面が表示されます。

17. 「このWebサイトをゾーンに追加する」にURLを入力し、 [追加] をクリックします。



信頼済みサイト	×
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。	) Web サイトす
この Web サイトをゾーンに追加する( <u>D</u> ):	
https://www.p-portal.go.jp/	追加( <u>A</u> )
Web サイト( <u>W</u> ):	
	削除( <u>R</u> )
✓ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要とする(S)	
	閉じる( <u>C</u> )

以下の3つのURLを1つずつ追加します。URLの最後には"/"(スラッシュ)を付けてください。

- https://www.p-portal.go.jp/
- https://www.geps.go.jp/
- https://www.nyusatsu.geps.go.jp/

追加したURLが「Webサイト」欄に表示されます。

信頼済みサイト	×
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾー べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。	-ンの Web サイトす
この Web サイトをゾーンに追加する( <u>D</u> ):	
l	追加( <u>A</u> )
Web サイト( <u>W</u> ):	
https://www.geps.go.jp	削除( <u>R</u> )
https://www.nyusatsu.geps.go.jp https://www.p-portal.go.jp	
∠」このソーンのサイトにはすべくサーバーの雑誌 (https:)を必要とす	<u> ව(ව</u> )
	閉じる( <u>C</u> )

## 18. [閉じる] をクリックします。

「信頼済みサイト」画面が閉じ、「インターネットオプション」画面が表示されます。

19. [信頼済みサイト] が選択されていることを確認し、 [レベルのカスタマイズ] をクリックします。



インターネットオプション         ? ×
全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。
🛯 🤮 🗳 🗸 🛛 🚫 👘
インターネット ローカル イントラネッ 信頼済みサイト 制限付きサイト ト
信頼済みサイト また、 サイト(S)
く このソーンには、コンピューターやファイルに決善を与えない と信頼している Web サイトが含まれています。
このゾーンに属する Web サイトがあります。
このゾーンで許可されているレベル: すべて
- <b>P</b>
安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。 
□ 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)
レベルのカスタマイズ( <u>C</u> ) 既定のレベル( <u>D</u> )
すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする( <u>R</u> )
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )

「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」 画面が表示されます。

## 20. 「ActiveXコントロールとプラグイン」で以下の項目の [有効にする] をクリックします。

・ActiveXコントロールとプラグインの実	行
------------------------	---

セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	>
設定	
<ul> <li>              ActiveX コントロールでのマルウェア対策ソフトウェアの実行             ・ 無効にする             ・ 有効にする          </li> <li>             ActiveX コントロールとブラグインの実行             ・ ダイアログを表示する             ・ 管理者の許可済み             ・ 無効にする             ・ 有効にする             ・ 有効にする             ・ 有効にする             ・ 有効にする             ・ 一・ルに対して自動的にダイアログを表示             ・ ● 病効にする             ・ ● 有効にする             ・ ● 有効にする      </li> </ul>	
<ul> <li>○ 有効にする</li> <li>② ActiveX フイルターを有効にする</li> <li>○ 無効にする</li> <li>③ 有効にする</li> <li>③ ActiveX を警告なしで使用することを承認済みのドメインにのみ許可する</li> </ul>	
*コンピューターの再起動後に有効になります	
- カスタム設定のリセット リセット先(R): 中(既定) / リセット(E)	
OK キャンセノ	1

・スクリプトを実行しても安全だとマークされているActive Xコントロールのスクリプトの実行



セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	×
80000000000000000000000000000000000000	
<ul> <li>         スクリプトレットの許可         ダイアログを表示する         ● 無効にする         ● 有効にする         ● 有効にする         ● 無効にする         ● 無効にする         ● 有効にする         ● 一方しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初         ○ ダイアログを表示する         ● 一方しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリ         ○ ダイアログを表示する         ● イカにする         ● 「バイナリビヘイビアーとスクリプトビヘイビアー         ● 管理者の許可済み         ● 有効にする         ● 有効にする         ● 有効にする         ● イ効にする         ● イガードする         ● イガードする         ● イガードする         ● イガードする         ● イガードする         ● イガード         ● イガード         ● イガード         ● イガード         ● イガード         ● イガード         ● インド・         ● 「日本         ● イガード         ● 「日本         ● ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●</li></ul>	
「コノビューダーの再起動役に有効になりよう	
カスタム設定のリセット リセット先(R):	
● (成定) ● (成定) ● (以定)	
OK キャンセル	

21. 「スクリプト」で「Javaアプレットのスクリプト」と「アクティブスクリプト」の「有効にする」を クリックします。

セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン >	<
設定	
スクリプト                         ダイアログを表示する	
<ul> <li>○ 無効にする</li> <li>● 有効にする</li> <li>☞ フクリゴトに トス味い// けか 理の能可</li> </ul>	
*コンピューターの再起動後に有効になります	
カスタム設定のリセット リセット先(B): 中(既定) 〜 リセット(E)	
OK キャンセル	

22. 「その他」で「サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」の[有効にする]をクリックします。



セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	×
設定	_
○       Windows Defender SmartScreen を使用する       ▲         ○       無効にする       ●         ○       有効にする       ●         ○       アブリケーションと安全でないファイルの起動       ●         ●       ダイアログを表示する       ●         ●       有効にする       ●         ●       イアログを表示する       ●         ●       ケーバーにファイルをアップロードするときにローカル ディレクトリのパスを含める       ●         ●       ●       ●	
<ul> <li>○ 無効にする</li> <li>● 有効にする</li> <li>○ サイズや位置の制限なしにスクリブトでウィンドウを開くことを許可する</li> <li>● 無効にする</li> <li>○ 有効にする</li> <li>○ ドメイン間でのデータ ソースのアクセス</li> <li>○ ダイアログを表示する</li> <li>● 無効にする</li> </ul>	
< > *コンピューターの再起動後に有効になります	
カスタム設定のリセット リセット先( <u>R</u> ): 中(既定) / リセット( <u>E</u> )	
OK キャンセル	

**23.** [OK] をクリックします。

24. 「警告」画面で [はい] をクリックします。

警告		×
۲	このゾーンの設定を変更しますか?	
	はい( <u>Y</u> ) いいえ( <u>N</u> )	

「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」画面が閉じ、「インターネットオプション」画面が表示されます。

## 25. [プライバシー] タブをクリックします。



26. 「ポップアップブロックを有効にする」にチェックが入っているときは、 [設



全般     セキュリティ     プライパシー     コンテンツ     接続     プログラム     詳細設定       設定     サイト( <u>S</u> )     詳細設定( <u>V</u> )
設定 サイト( <u>S</u> ) 詳細設定(⊻)
サイト( <u>S</u> ) 詳細設定(⊻)
位置情報
─ Web サイトによる物理的な位置情報の要求を許可 しない(L)
ポップアップ ブロック
✓ポップアップブロックを有効にする(B) 設定(E)
InPrivate
☑ InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(I)
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )

「ポップアップブロックの設定」画面が表示されます。

「ポップアップブロックを有効にする」にチェックが入っていないときは、 [OK] をクリックして手順30に進んでください。

**27.** 「許可するWebサイトのアドレス」にURLを入力し、 [追加] をクリックします。

ポップアップ ブロックの設定	>
例外 現在ボッブアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加 定の Web サイトのポップアップを許可できます。	ロすることにより、特
許可する Web サイトのアドレス(W):	
www.geps.go.jp	追加( <u>A</u> )
許可されたサイト(S):	
	削除( <u>R</u> )
	すべて削除( <u>E</u> )
ほ ゴンブロックリングリン	
」通知とフロックレイリン・ ▽ ポップアップのブロック時に音を鳴らす(P)	
□ ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)	
 ブロック レベル( <u>B</u> ):	
中:ほとんどの自動ポップアップをブロックする	~
ポップアップブロックの詳細	閉じる( <u>C</u> )

以下のURLを1つずつ追加します。

- www.geps.go.jp
- www.nyusatsu.geps.go.jp

追加したURLが「許可されたサイト」欄に表示されます。



ポップアップ ブロックの設定	×
例外 現在ボッブアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加 定の Web サイトのボッブアップを許可できます。 許可する Web サイトのアドレス(W):	することにより、特
	追加( <u>A</u> )
許可されたサイト(S):	
www.geps.go.jp www.nyusatsu.geps.go.jp	削除( <u>R</u> ) すべて削除( <u>E</u> )
通知とブロック レベル:	
✓ ポップアップのブロック時に音を鳴らす( <u>P</u> )	
✓ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)	
ブロック レベル( <u>B</u> ):	
中: ほとんどの自動ポップアップをプロックする	~
<u>ポップアップ ブロックの</u> 詳細	閉じる( <u>C</u> )

## 28. [閉じる] をクリックします。

「ポップアップブロックの設定」画面が閉じ、「インターネットオプション」画面が表示されます。

## **29.** [OK] をクリックします。

インターネット オプション	?	$\times$
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細語	定	
80000000000000000000000000000000000000		-
サイト( <u>S</u> ) 詳細設	定(⊻)	
位置情報		_
□ Web サイトによる物理的な位置情報の要求を許可 サイトのクしない(L)	リア( <u>C</u> )	
ポップアップ ブロック		-
✓ポップアップブロックを有効にする(B) 設定	( <u>E</u> )	
InPrivate		-
☑ InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(I)		
OK キャンセル	適用(	( <u>A</u> )



30. Internet Explorerの画面を閉じて、パソコンを再起動します。

### 31. パソコンが再起動したら、Internet Explorerを起動します。

#### 設定が反映されます。

以上でInternet Explorer 11の設定は完了です。 続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、セットアップが正常に完了したことを確認する > を参照して ください。

Google Chromeを使用する場合

1. Google Chromeを起動します。

### **2.** Google Chromeのメニューで [設定] をクリックします。



### 3. [セキュリティとプライバシー]をクリックし、 [サイトの設定]をクリックします。





### 4. 「コンテンツ」の [JavaScript] をクリックします。



## 5. 「デフォルトの動作」で [サイトがJavaScriptを使用できるようにする] をクリックします。

✿ 設定 - JavaScript × +		• - • ×
← → C ☆ ② Chrome   chrome://settings/c	ontent/javascript	☆ 😩 :
設定	Q、 設定項目を検索	
▲ Google の設定	← JavaScript Q 換票	
<ul> <li>目動入力</li> <li>セキュリティとプライバシー</li> </ul>	多くのサイトは、インタラクティブなビデオゲームやウェブフォームなどを表示するために JavaScript を使用 します。	
<ul> <li>デザイン</li> <li>Q 検索エンジン</li> </ul>	デフォルトの動作 サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います	
国  既定のブラウザ	● 〈〉 サイトが JavaScript を使用できるようにする	
<ul> <li>() 起動時</li> <li>詳細設定</li> <li>*</li> </ul>	<ul> <li>         べく サイトに JavaScript の使用を許可しない 勤作のカスタマイズ ・         ・         ・</li></ul>	
26.2007886	次のサイトでは、テノオルトではなくカスタムの設定が使用されます JavaScript の使用を許可しないサイト サイトが追加されていません	
	JavaScriptの使用を許可するサイト 適加 サイトが追加されていません	

### 6. [←] をクリックします。

7. 「コンテンツ」の [ポップアップとリダイレクト] をクリックします。



✿ 設定・サイトの設定 × +			• - •										
← → C ☆ @ Chrome   chrome://settings/	· → C û    Chrome   chrome://settings/content												
設定	Q 設定項目を検索												
💄 Google の設定	▲ 通知 通知を送信するかどうかの確認をサイトに許可する	•											
<ul> <li>自動入力</li> <li>セキュリティとプライバシー</li> </ul>	バックグラウンド同期 最近閉じたサイトがデータの送受信を完了できるようにする	Þ											
🍄 デザイン	その他の権限	~											
<ul><li>Q、検索エンジン</li><li>回、既定のブラウザ</li></ul>	コンテンツ												
し 起動時	Cookle とサイトデータ シークレット モードでサードパーティの Cookle がブロックされています	•											
詳細設定    ▼	JavaScript サイトが JavaScript を使用できるようにする	•											
拡張機能 Chrome について	国僚 サイトが画像を表示できるようにする	•											
	<ul> <li>ポップアップとリダイレクト</li> <li>サイトにボップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しない</li> </ul>	•											
	その他のコンテンツの設定	~											

8. 「動作のカスタマイズ」で「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の [追加] を クリックします。

✿ 設定 - ポップアップとリダイレクト × +		• - • ×							
$\leftarrow$ $\rightarrow$ C $\odot$ Chrome   chrome://settings/content	nt/popups	\$ <b>*</b> E							
設定	Q、 設定項目を検索								
💄 Google の設定	← ボッブアップとリダイレクト Q 検索								
<ul> <li>自動入力</li> <li>プライバシーとセキュリティ</li> </ul>	ポップアップを送信して広告を表示したり、リダイレクトを使ってユーザーがアクセスするつもりのないウェ プサイトを表示したりするサイトもあります								
<ul> <li>デザイン</li> <li>6年末、ミン・</li> </ul>	デフォルトの動作 サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います								
	○ ⑦ サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする								
<ul> <li>         近勤時     </li> <li>         詳細設定</li></ul>	<ul> <li>         ・</li></ul>								
拡張機能 Chrome について	次のサイトでは、デフォルトではなくカスタムの設定が使用されます ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト 違加								
	サイトが追加されていません ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト <b>造加</b>								
	サイトが追加されていません								

「デフォルトの動作」で [サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする] が選択されている場合は、 手順10に進んでください。

9. 「サイトの追加」にURLを入力し、 [追加] をクリックします。





以下のURLを1つずつ追加します。

- www.geps.go.jp
- www.nyusatsu.geps.go.jp

追加したURLが「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」に表示されます。

10. Chromeウェブストアの調達ポータル・政府電子調達(GEPS) APのページョにアクセスします。

Chromeウェブストアで「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP」を検索してページを表示することもできます。 オフライン環境で拡張機能をインストールする場合は、オフラインでGoogle Chromeに拡張機能をインストールする > を参照してくだ さい。

### 11. [Chromeに追加] をクリックします。

🚡 chro	me ウェブストア	<b>\$</b> ~
木	ーム > 拡張機能 > 調達ポータル・政府電子調達(GEPS)AP	
7	<ul> <li>調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP</li> <li>         提供元: デジタル庁         ★★★★★ ○   ユーザー補助機能   ▲ ユーザー数:1人     </li> </ul>	Chrome (ご追加
	概要 プライバシーへの取り組み レビュー 関連アイテム	

12. 「「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP」を追加しますか?」と表示されたら、 [拡張機能を追加]をクリックします。





「「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP」がChromeに追加されました。」と表示されたらGoogle Chromeの設定は完了です。 続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、セットアップが正常に完了したことを確認する > を参照して ください。

オフラインでGoogle Chromeに拡張機能をインストールする Chromeウェブストアからのインストール(手順10~12)ができない場合、以下の手順を実施してください。

- 1. Google Chromeを起動します。
- 2. Google Chromeのメニューで [その他のツール] をクリックし、 [拡張機能] をクリックします。



3. 「デベロッパーモード」を有効にして、 [パッケージ化されていない拡張機能を読み込む] をクリックします。



★ 拡張機能 × + ← → C ● Chrome   chrome://extensions		∨ – □ × Q & ★ ● :
Ξ 拡張機能 Q 拡張機能	を検索	<u> </u>
パッケージ化されていない拡張機能を読み込む	拡張機能をパッケージ化 更新	
	Chrome ウェブストアで拡張機能やテーマを探すことができます	

### 4. 拡張機能のディレクトリを選択し、 [フォルダーの選択] をクリックします。

★ 拡張機能	× +			∨ – □ X
$\leftrightarrow$ $\rightarrow$ $\mathbf{C}$ $\odot$ Chrome	chrome://extensions			Q 🖻 ★ 🛑 :
☰ 拡張機能	Q、 拡張機能を検索			デベロッパー モード 🔍
パッケージ化されていた	い拡張機能を読み込む	ケージ化 更新		
	◎ 拡張機能のディレクトリを選択してください。		×	
	← → × ↑ 🔜 « Program Files (×86) >	GEPS_Plugins > ext ∨ ひ	extの検索 🔎	
	整理 ▼ 新しいフォルダー		III <b>- ()</b>	
	> 🖈 ウイック アクセス	名前 ^	更新日時	
	> 💻 PC	検索条件に一致する項目	.はありません。	
	> 🀂 ライブラリ			
	> 💣 ネットワーク			
		<	>	
	フォルダー: ext			
		7	ォルダーの選択 キャンセル	
			.:	

以下のディレクトリを選択してください。

- ・64bit版のWindowsを使用している場合:C:¥Program Files (x86)¥GEPS\_Plugins¥ext
- ・32bit版のWindowsを使用している場合:C:¥Program Files¥GEPS\_Plugins¥ext
- 5. 「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP」が追加されたことを確認し、「デベロッパーモード」を無効にします。





以上でGoogle Chromeの設定は完了です。

続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、セットアップが正常に完了したことを確認する > を参照して ください。

Microsoft Edgeを使用する場合

- 1. Microsoft Edgeを起動します。
- 2. Microsoft Edgeのメニューで [設定] をクリックします。

□ 55 調達ポータル	× +				-	D	×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $ ext{C}$ $ ext{https://www.end}$	w.p-portal.go.jp/pps-web-biz/UZA01/OZA	0101	A٩	ta (3   t≦	Ē	۲	
		新しいタブ		Ctrl+T			
── 調達ポータル				新しいウィンドウ		Ctrl+N	
	インターネットを利用して行うことが できます。		Ę	新しい InPrivate ウィンドウ	Ctrl	+Shift+N	
				Х-L —	100%	+	2
			≨	お気に入り	Ctrl	+Shift+O	
	$\mathbf{C}$		Ē	コレクション	Ctr	l+Shift+Y	
	調 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	達ポータル	5	履歴		Ctrl+H	
			$\underline{\downarrow}$	ダウンロード		Ctrl+J	
	調達情報の確認、入札等を行	うことができるサイトです	B	アプリ			>
			¢	拡張機能			
	利用者登録はこちら >	あなたへの通知を確	Ø	印刷		Ctrl+P	
		Contractor of the second	ŷ	Web キャプチャ	Ctr	l+Shift+S	
調達ポークルを	ご利用にかえ方は パリコ	ンをセットアップする	Ċ	共有			
前注ハッルと			ඛ	ページ内の検索		Ctrl+F	
			A»	音声で読み上げる	Ctrl	+Shift+U	
				その他のツール			>
推奨ブラウザ変更に伴	うクライアントソフトの入れ	1.替えを行っていないは	ŝ	設定			
	できないため、必ず入れ	<b>替えを実施してくださ</b> い	?	ヘルプとフィードバック			>
また、入札業務を利用	する場合、クライアントソン	フトの入れ替え後にキー		Microsoft Edge を閉じる			



□ @ \$2 × +			-	0	×								
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\mathbf{C}$ $\mathbf{c}$ Edge   edge://settings/conte	ontent to 3 G t												
設定	<b>すべてのアクセス許可</b> すべてのサイトに適用されるアクセス許可												
<ul> <li>Q、設定の検索</li> <li>③ プロファイル</li> </ul>	<ul> <li>場所 衆に確認する</li> </ul>	>											
ー ご ブライバシー、検索、サービス ③ 外観	<ul> <li>カメラ</li> <li>常に確認する</li> </ul>	>											
<ul> <li>□ 【スタート】、「ホーム】、および (新規) タブ</li> <li>◎ 共有、コピーして貼り付け</li> </ul>	<ul> <li>マイク 素に確認する</li> </ul>	>											
G Cookie とサイトのアクセス許可     G 既定のブラウザー	(・) モーション センサーまたは光センサー サイトでのモーション センサーと光センサーの使用を許可する	>											
± ダウンロード 登 ファミリー セーフティ		>											
At 言語 〇 ブリンター	」 JavaScript 許可済み	>											
ロ システム ② 設定のリセット	<ul> <li>ス イメージ</li> <li>すべて表示</li> </ul>	>											
<ul> <li>スペーレスノとその地域のブハイス</li> <li>常 アクセジビリティ</li> <li>Microsoft Edge について</li> </ul>	(2) ポップアップとリダイレクト ブロック済み	>											

### 4. [許可(推奨)]を有効にします。

	ŝ	設定		× +																				-	0	×
$\leftarrow$		С	C Edge   edge	e://settings/cor	ntent/	nt/jav	javascr	ript											to	1	{	3	5⁄≣	Ē		
	設定	Ē			←	- サ	ታኅዞ	ኑ <b>の</b> ፖ	クセス	、許可	可 / 」	/ Jav	avaS	aScri	ipt											
	Q	設定の	食索			-	_																_			
	8	プロファイ	Jμ			L	許可	可 (推奨	)														C			
	6 ()	プライバ: 外観	ン−、検索、サ−ビス				ブロ	ック														追加				
		[スタート]	、[ホーム]、および [新規	見] タブ			追	加された!	サイトはあ	ありません	h															
	6	共有、」 Cookie	ヒーして貼り付け とサイトのアクセス許可					_																		
	6	既定のフ	ラウザー				許可	ŋ														追加	1			
	*	タウンロー	セーフティ				追	加された!	サイトはあ	らりません																
	At	言語																								
	0	プリンター																								
		システム																								
	5	設定の	セット																							
		24-12	オンとその他のデバイス																							
	Ŵ	アクセシ	ビリティ																							
	9	Microso	ft Edge について																							

## 5. [←] をクリックします。

6. 「Cookie とサイトのアクセス許可」が選択されていることを確認し、 [ポップアップとリダイレクト] をクリックします。



② 設定 ×	+					-	Ø	×
$\leftarrow$ $ ightarrow$ $old C$ ( $old e$ Edge   edge;	ttings/content	ίõ	1	3	£≡	æ	۲	
設定	<b>すべてのアクセス許可</b> すべてのサイトに適用されるアクセス許可							
Q 設定の検索	<ul> <li>場所 念に確認する</li> </ul>				>			
<ul> <li>□ ノロノアイル</li> <li>① ブライバシー、検索、サービス</li> <li>③ 外観</li> </ul>	<ul> <li>カメラ</li> <li>衆に確認する</li> </ul>				>			
<ul> <li>[スタート]、(ホーム)、および (新規)</li> <li>(ビ 共有、コピーして貼り付け</li> </ul>	ク マイク 実に確認する				>			
Cookie とサイトのアクセス許可 こ。既定のブラウザー	() モーション センサーまたは光センサー サイトでのモーション センサーと光センサーの使用を許可する				>			
<ul> <li>         ダウンロード     </li> <li>         受 ファミリー セーフティ     </li> </ul>	↓ 通知 索に確認する				>			
A <sup>1</sup> 言語 ロ ブリンター	」 JavaScript 許可済み				>			
<ul> <li>システム</li> <li>設定のリセット</li> <li>スマートフォンとその他のデバイス</li> </ul>	2 1メージ すべて表示				>			
<ul> <li>☆ アクセシビリティ</li> <li></li></ul>	(2) ポップアップとリダイレクト ブロック(資み)				>			

## 7. 「許可」の [追加] をクリックします。

	\$	設定	× +									-	ð	×
$\leftarrow$		C	Edge   edge://settings,	/content/p	opups			τœ	1	3	€≦	Ē		
	設力	<b>と</b> 設定の経	خ	<i>←</i>	サイトのアクセス許可,	/ ポップアップと	:リダイレクト							
	8	プロファイノ プライバシ	レ -、 検索、 サービス		ブロック (推奨)						D			
	0	外観			ブロック					追加	1			
	E	[スタート]、 共有、コビ	[ホーム]、および [新規] タブ ニーして貼り付け		追加されたサイトはありません									
	<b>•</b>	Cookie と 既定のブラ	サイトのアクセス許可 ラウザー		許可					追加	1			
	±	ダウンロー	. 7= /		追加されたサイトはありません									
	₽ A	言語	2-771											
	0	プリンター システム												
	U	設定のリイ	マット											
		スマートファ	ナンとその他のデバイス											
	Ŵ	アクセシビ	リティ											
	Q	Microsof	t Edge について											

「ブロック(推奨)」が無効になっている場合は、手順9に進んでください。

## 8. 「サイトの追加」にURLを入力し、 [追加] をクリックします。

÷	サイトのアクセス許可 / ポップアップとリダイレクト		÷	サイトのアクセス許可 / ポップアップとリダイレクト	
	ブロック (推員)			ブロック (推奨)	
	ĴD79	追加		לעסל	追加
	<sup>通加2れたサイ</sup> サイトの追加 ×			追加されたサイトはありません	
	許可 91ト www.ees.go.jo	追加		許可	追加
	www     送加 キャンセル			<ul> <li>www.gepsgo.jp</li> <li>www.nyusatsu.geps.go.jp</li> </ul>	



以下のURLを1つずつ追加します。 ・www.geps.go.jp ・www.nyusatsu.geps.go.jp 追加したURLが「許可」に表示されます。

9. Microsoft Edgeのメニューで [拡張機能] をクリックします。

### 10. [拡張機能の管理] をクリックします。



11. [他のストアからの拡張機能を許可します] をクリックします。



12. 確認画面で [許可] をクリックします。





「他のストアからの拡張機能を許可します。」が有効になります。

13. Chromeウェブストアの調達ポータル・政府電子調達(GEPS) APのページ Cアクセスします。

Chromeウェブストアで「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP」を検索してページを表示することもできます。 オフライン環境で拡張機能をインストールする場合は、オフラインでMicrosoft Edgeに拡張機能をインストールする > を参照してください。

### 14. [Chromeに追加] をクリックします。

👗 chrome ウェブストア	7	<b>\$</b> ~
ホーム > 拡張機能 > 調)	達ポータル・政府電子調達(GEPS)AP	
調達ポー <sup>提供元: デジタ)</sup> ★★★★★	ータル・政府電子調達(GEPS)AP <sup>I庁</sup> Vo ユーザー補助機能 ニューザー数:1人	Chrome (己追加
	「「「「「」」 プライバシーへの取り組み レビュー	関連アイテム

15. 「"調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP"をMicrosoft Edgeに追加しますか?」と表示されたら、 [拡張機能の追加]をクリックします。



「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) APがMicrosoft Edgeに追加されました」と表示されたらMicrosoft Edgeの設定は完了です。 続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、セットアップが正常に完了したことを確認する >を参照して ください。

オフラインでMicrosoft Edgeに拡張機能をインストールする Chromeウェブストアからのインストール(手順13~15)ができない場合、以下の手順を実施してください。



- 1. Microsoft Edgeを起動します。
- 2. Microsoft Edgeのメニューで [拡張機能] をクリックします。

#### 3. [拡張機能の管理]をクリックします。



### 4. 「開発者モード」を有効にして、 [展開して読み込み] をクリックします。



5. 拡張機能のディレクトリを選択し、 [フォルダーの選択] をクリックします。



	× +									-	0	×
→ C @ E	dge   edge://extensions						٢	δ <b>Γ</b> ≡	Ē	サインイン	2	
<b>拡張機能</b>	D拡張機能の検索			<b>ブラウザーを拡張機能で</b> 拡張機能は、ブラウザー操作 ルなツールです。 <u>詳細情報</u>	<b>カスタマイズ</b> ⊧のエクスペリエンスをカス	マイズし、より紙	田かい制御を提供す	るシンプ				
公 拡張機能	€ 拡張機能のディレクトリを選択	尺します。							×			
□□ キーボード ショート	🔶 -> -> 🛧 🔂 > PC	→ ローカル ディスク (C:	) > Program	Files (x86) > GEPS_Plugins	> ext	ٽ ~	extの検索		P	○更新	Ť	
	整理 ▼ 新しいフォルダー								?			
Microsoft Edge U加版	> 💉 クイック アクセス		名前	^		更新日時	種類		ナイズ			
	> 💶 PC				検索条件に一致する項	目はありません。						
	> 🀂 ライブラリ											
	> 🥩 ネットワーク											
開発者モード												
他のストアからの拡張機能												
す。 <u>詳細情報</u>												
			<							•		
	フォルタ	-: ext							- 11			
						L	ノオルターの選択	キャン	en .			

以下のディレクトリを選択してください。

- ・64bit版のWindowsを使用している場合:C:¥Program Files (x86)¥GEPS\_Plugins¥ext
- ・32bit版のWindowsを使用している場合: C:¥Program Files¥GEPS Plugins¥ext
- 6. 「調達ポータル・政府電子調達(GEPS) AP」が追加されたことを確認し、「開発者モード」を無効にし ます。



以上でMicrosoft Edgeの設定は完了です。

続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、セットアップが正常に完了したことを確認する > を参照して ください。



1. 電子調達システムへのログインにICカードまたはマイナンバーカードを使用する場合は、パ この画面の C カードリーダーを接続してカードをセットします。



### 2. クライアント環境確認 > にアクセスします。

「クライアント環境確認」ページが表示されます。

クライア	ント環境確認
	クライアントの環境確認
重要なお知らせ	<ul> <li>令和4年3月16日より、調達ボータルおよび政府電子調達システムを利用するためのプラグイン(アドオン)が変更になりました。</li> <li>※利用者環境の事前準備は、調達ボータル・政府電子調達システムを2020年(令和2年)1月6日以降利用する場合の手順(PDF形式:4.9MB) &gt;をご参照ください。</li> <li>利用者環境事前準備が完了後、本ページにて動作確認が可能です。</li> <li>調達ボータルおよび政府電子調達システムは令和4年5月よりMicrosoft Edge、Google Chromeに対応予定です。</li> <li>本ページは先行してMicrosoft Edge、Google Chromeでの動作確認が可能です。</li> <li>本ページでは、政府電子調達システムの入札業務は動作確認対象外です。</li> </ul>
電子証明書種別 民間電子証明書 民間電子証明書 マイナンバーカ・	を選択して、システム確認ボタンをクリックしてください。 (ICカード)およびマイナンバーカードを選択した場合、ICカードリーダにICカードが差されているかご確認ください。 (ファイルタイプ)を選択した場合、読み込む対象のファイルを指定してください。 ードを選択した場合、署名用バスワード(半角6~16文字)を入力してください。

3. 電子調達システムへのログインに使用する電子証明書の種類を選択し、 [システム確認] をクリックします。

電子証明書種別 ?		
● 民間電子証明書(ICカード)	◎ 民間電子証明書(ファイルタイプ)	◎ マイナンバーカード
	システム確認	
	ご利用のブラウザ	
	Internet Explorer	
	確認結果	
	「システム確認」ボタンを押してく	ださい…

[民間電子証明書(ファイルタイプ)]を選択した場合は、使用する証明書のファイルを指定します。 「PIN番号入力ダイアログ」が表示されます。

4. 電子証明書のPIN番号を入力し、 [OK] をクリックします。



PIN番号入力ダイアログ	$\times$
PIN番号を入力してください。	
PIN番号:	
<u>ок</u> <b>≠</b> ャンセル	

手順3で [マイナンバーカード] を選択したときは、署名用電子証明書のPIN番号(半角6~16文字)を入力します。 「Internet Explorerセキュリティ」画面が表示された場合は [許可する] をクリックします。

## 5. 「確認結果」に「プラグインは正常に動作しています。」と表示されることを確認します。

システム確認 >
ご利用のブラウザ
Internet Explorer
確認結果
ブラグインは正常に動作しています。

以上で確認は終了です。

続けて利用者の登録をします。登録のしかたについては、操作マニュアルの利用者を登録する > を参照してください。 電子証明書を読み込むとエラーが表示される場合は以下を確認してください。

エラーメッセージ	対処方法					
呼び出し失敗 【詳細】 TypeError:未定義またはNULL参照のプロパティ' 'は取得できません	パソコンのセットアップが完了していません。 本ページに従ってセットアップを完了してください。					
[CLIENT-ERR-EXE-0033] 環境エラーが発生しました。(     )	複数の認証局のクライアントソフトがパソコンにインストールされている、 または認証局から提供されるクライアントソフトの設定が完了していません。 複数のクライアントソフトがインストールされている場合は、利用していない認証局のクライアントソフトがインストールされている場合は、利用していない認証局のクライアントソフトをアンインストールしてください					
[CLIENT-ERR-EXE-0043] 環境エラーが発生しました。(     )	クライアントソフトを1つしかインストールしていない場合は、クライアント ソフトの設定が正しいか確認してください。クライアントソフトの設定につ いては各認証局のホームページなどで確認し、解決しない場合は各認証局に 問い合わせてください。					
[CLIENT-ERR-EXE-0016] 環境エラーが発生しました。(0)	ブラウザーの信頼済みサイトの設定が正しくありません。 ブラウザーの設定をする > を参照して設定してください。					
[CLIENT-ERR-BHO-0016] 環境エラーが発生しました。(0)	☆ この画面の 先頭へ					

[CLIENT-ERR-EXE- ] ICカードに接続できませんでした。( )	以下を確認してください。 ・パソコンにICカードリーダーライターが接続されているか ・ICカードリーダーライターの設定が完了しているか ・ICカードがセットされているか
www.p-portal.go.jpの内容 呼び出し失敗 【詳細】 拡張機能がインストールまたは有効化されていません	拡張機能のインストールが完了していない、または拡張機能が有効になって いません。 ブラウザーの設定をする > を参照して設定してください。
[CLIENT-ERR-EXT-00102] 環境エラーが発生しました。 (Specified native messaging host not found.)	プラグインまたはアドオンのインストールが完了していません。 調達ボータルと電子調達システムを使用できるようにする > とブラウザーの 設定をする を参照して設定してください。 >
電子入札補助アプリ(または電子調達システム用プ ログラム)の新しいバージョンがリリースされてい ます。 表示されているブラウザを閉じて、最新バージョン を入手してインストールしてください。 ※最新バージョンでない場合、正常に申請書・入札 書の提出ができません。 ■ログインに利用する電子証明書の種別 OICカードをご利用の場合:ICカードを購入した民 間認証局にご確認ください。 Oファイルタイプまたはマイナンバーカードをご利 用の場合:調達ポータルの利用者環境準備ページを ご確認ください。	古いバージョンの電子入札補助アプリまたは電子調達システム用プログラム がインストールされています。 ブラウザーの画面を閉じて、最新バージョンをインストールしてください。I Cカード形式の証明書を使用している場合は、使用している証明書の発行元で ある認証局が提供しているクライアントソフトを確認してください。 ファイルタイプの証明書またはマイナンバーカードを使用している場合は、 調達ポータルと電子調達システムを使用できるようにする > で最新のプログ ラムを入手してインストールしてください。 古いバージョンの電子入札補助アプリまたは電子調達システム用プログラム がインストールされていると、申請書または入札書の提出が正常に実施でき ません。

### Javaスクリプトの設定をする

ログインしないで調達ポータルを利用する場合、またはIDとパスワードでログインして調達ポータルを利用する場合は閲覧に使用するブ ラウザーを以下のいずれかから選択し、Javaスクリプトの設定をしてください。

- ・Internet Explorer 11で閲覧する >
- Google Chromeで閲覧する >
- ・Microsoft Edgeで閲覧する >
- Internet Explorer 11で閲覧する
- Internet Explorerの画面で [<sup>1</sup><sup>1</sup><sup>1</sup><sup>1</sup>] (ツールボタン)をクリックして、 [インターネットオプション] を クリックします。
- 2. 「セキュリティ」タブをクリックし、 [レベルのカスタマイズ] をクリックします。
- 3. 「スクリプト」で、「Java アプレットのスクリプト」と「アクティブ スクリプト」の[有効にする]を クリックし、[OK]をクリックします。
- 4. 「インターネットオプション」画面に戻ったら、 [OK] をクリックします。



ログインしないで調達ポータルを利用する場合、以上で設定は完了です。IDとパスワードでログインして調達ポータルを利用する場合は、Javaスクリプトの設定が完了したら利用者を登録する > に進んでください。

Google Chromeで閲覧する

#### 1. Google Chromeのメニューで [設定] をクリックします。

SS 調達ポータル ×	+			× -	· 🗆	×
← → C 🔒 p-portal.go.jp/pp	s-web-biz/UZA01/OZA0101			r 🖈	*	
<b>S</b> 調達ポータル	調達情報の確認・入札等を、 インターネットを利用して行うことが	■ 操作マニュアル	新しいタブ 新しいウィンドウ 新しいシークレット	ウィンドウ	Ct Ct Ctrl+Shi	ırl+T rl+N ft+N
E MENU	できます。		履歴 ダウンロード ブックマーク		C	trl+J
K.		達ポータル	ズーム 印刷 キャスト	- 100%	+ Ct	E] trl+P
	検索 その他のツール		C	trl+F		
	調達情報の確認、入札等を行う	うことができるサイトです。	編集 切り 	取り コピ	- 貼	り付け
	利用者登録はこちら >	あなたへの通知を確認	ヘルプ 終了			
		and the second	44.3			

2. [セキュリティとプライバシー]をクリックし、 [サイトの設定]をクリックします。

3. 「コンテンツ」の項目で、「JavaScript」をクリックします。

4. 「デフォルトの動作」で [サイトがJavaScriptを使用できるようにする] をクリックします。

ログインしないで調達ポータルを利用する場合、以上で設定は完了です。IDとパスワードでログインして調達ポータルを利用する場合は、Javaスクリプトの設定が完了したら利用者を登録する > に進んでください。

Microsoft Edgeで閲覧する

1. Microsoft Edgeのメニューで [設定] をクリックします。



□ S 額連ポークル × +					-	o	×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $ m C$ $ m b$ https://www.	w.p-portal.go.jp/pps-web-biz/UZA01/OZA	0101	A٩	\$ \$   €	Ē	۲	
5調達ポータル	調達情報の確認・入札等を、 インターネットを利用して行うことが できます。			新しいタブ		Ctrl+T	
			新しいウィンドウ		Ctrl+N		
		2	新しい InPrivate ウィンドウ	Ctrl	+Shift+N		
				Х-L —	100%	+	2
調達情報の確認、入札等を行うことができるサイトです			£`≡	お気に入り	Ctrl	+Shift+O	
			Ē	コレクション	Ctr	+Shift+Y	
			5	履歴		Ctrl+H	
			$\underline{\downarrow}$	ダウンロード		Ctrl+J	
			B	アプリ			>
				拡張機能			
	利用者登録はこちら >	あなたへの通知を確	Ø	印刷		Ctrl+P	
			ŷ	Web キャプチャ	Ctr	+Shift+S	
調達ポータルをご利用になる方は、 <b>パソコンをセットアップする</b>			ė	共有			
			දා	ページ内の検索		Ctrl+F	
			A»	音声で読み上げる	Ctrl	+Shift+U	
				その他のツール			>
推奨ブラウザ変更に伴うクライアントソフトの入れ替えを行っていない			ŵ	設定			
できないため、必ず入れ替えを実施してください			?	ヘルプとフィードバック			>
また、入札業務を利用する場合、クライアントソフトの入れ替え後にキ・ ギャッ、				Microsoft Edge を閉じる			

2. [Cookie とサイトのアクセス許可]をクリックし、 [JavaScript] をクリックします。

### 3. [許可(推奨)]を有効にします。

ログインしないで調達ポータルを利用する場合、以上で設定は完了です。IDとパスワードでログインして調達ポータルを利用する場合は、Javaスクリプトの設定が完了したら利用者を登録する > に進んでください。

#### ➡ トップページへ戻る

初めてご利用になる方へ

- 推奨環境
- 電子証明書の取得
- 環境設定
- Javaスクリプトについて
- PDFファイルの閲覧について

#### 調達ポータルのご利用について

- 利用時間
- 利用規約
- 利用可能文字
- 利用条件
- 本システムへのリンクについて
- 用語集

調達ポータルについて

- 本システムの説明
- 本システムの対象範囲
- プライバシーポリシー
- 商標について
- ウェブアクセシビリティについて
- セキュリティについて
- 関連サイトへのリンク

Copyright (c) 2018 Digital Agency, Government of Japan

